

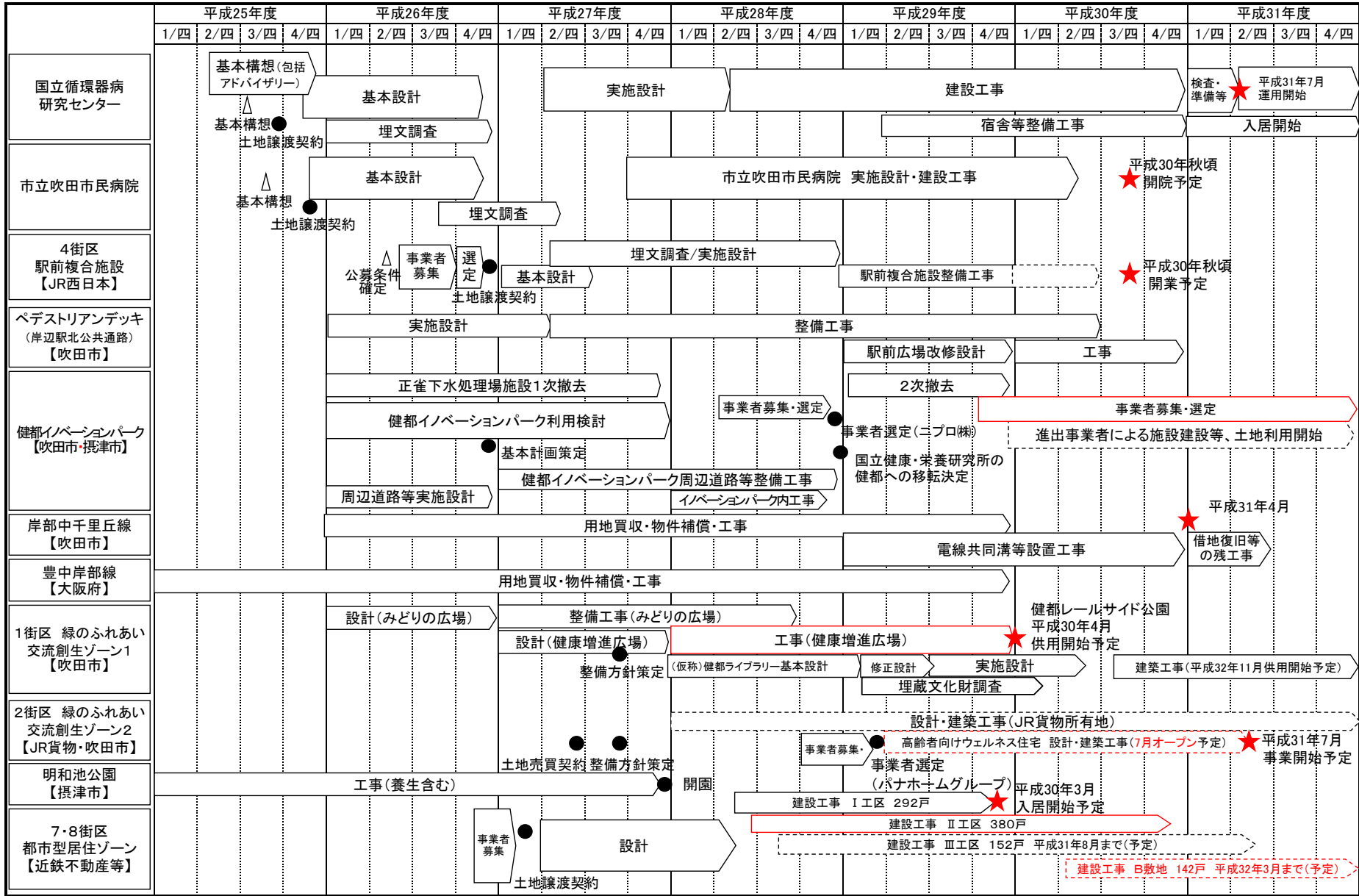
## 資料 2

### 北大阪健康医療都市の取組みについて

- (1) 北大阪健康医療都市の全体スケジュールについて 資料 2-1
- (2) おおさか・すいたハウス移転支援寄附目標達成の御報告  
市立休日急病診療所の恒久的な移転について 資料 2-2
- (3) 健都 2 街区高齢者向けウェルネス住宅事業スケジュール等 資料 2-3
- (4) 国循－吹田市民病院の連携に係る検討状況について 資料 2-4
- (5) 新たな都市部住民コホート研究について 資料 2-5

北大阪健康医療都市 項目別全体スケジュール

資料2-1

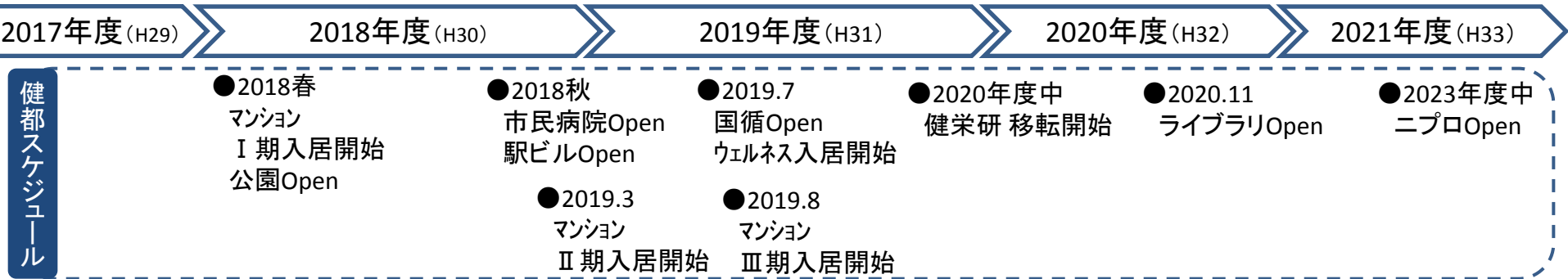


※1/四、2/四、3/四、4/四は、それぞれ第1四半期(4~6月)、第2四半期(7~9月)、第3四半期(10~12月)、第4四半期(1~3月)を表す。  
 ※平成29年11月20日現在(前回からの変更箇所を赤字で記載)

# 健都のPRについて③

## PRのイメージ(例)

今後、各施設が供用開始されていくことにあわせて、2018年秋の(仮称)JR岸辺駅ビルと吹田市民病院の開業を健都の「オープン①」、国循が移転する2019年7月を「オープン②」とする。



★健康増進広場  
オープンイベント

★オープン①  
イベント

★オープン②  
イベント

★ライブラリ  
オープンイベント

関大等と連携したシンポジウム開催(オープンイベント前後)

◆健都全体  
イベント

◆健都全体  
イベント

◆健都全体  
イベント

イベントカレンダー2018

イベントカレンダー2019

イベントカレンダー2020

イベントカレンダー2021

市報での特集等によるPR

ポータルサイト・パンフレットによるPR



# おおさか・すいたハウス移転支援寄附 目標達成のご報告

平成 29 年 12 月 18 日

寄附総額(平成29年12月18日現在)

## 216,609,646円(1,261件)

平成28年2月から開始しました「おおさか・すいたハウス移転支援寄附」につきまして、皆さまのご支援により目標額の2億円に到達いたしました。

これにより新ハウスの建設・移転が実現することとなります。心のこもったあたたかいご支援をいただき、誠にありがとうございました。

いただきました寄附金につきましては、財団が新ハウスを建設する際の建設費用や開設に必要な備品購入費用、引越し費用等の諸経費に使用されます。

また、ハウス移転の必要額を超えた寄附金につきましては、「おおさか・すいたハウス」の運営に活用いただくこととなっています。

※公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

## 新ハウスについて

### ①移転スケジュール

国立循環器病研究センターの移転にあわせて、平成31年7月の予定です。

平成29年		平成30年				平成31年		
11月	12月	1月	4月	12月	1月	4月	7月	
設計、各種申請		新ハウス建設工事				竣工	移転準備	新ハウス開設

### ②移転場所



新ハウスはJR岸辺駅北側に広がる北大阪健康医療都市(健都)<sup>けんと</sup>に移転する国立循環器病研究センターの一部用地に建設されます。



## 関係者からのお礼のコメント



国立循環器病研究センター  
理事長  
**小川 久雄**

ハウスの移転に向けて、多くの皆様から暖かいご支援をいただき、2億円というとても大きな寄附目標額に達することができました。皆様のご厚意に深謝申し上げます。

当センターにおきましても、ご支援をいただいた皆様のご期待に沿えるよう、心臓病などを持つお子さんたちの一日も早い回復に向けて、引き続き全力で取り組んでまいります。



吹田市  
市長  
**後藤 圭二**

ご支援いただきました皆様に目標達成のご報告ができることを大変嬉しく思います。2億円という非常に高い目標でしたが、関西を中心に全国へ支援の輪が広がり達成することが出来ました。あらためてご支援いただきました皆様に御礼申し上げます。皆様のご支援によりハウス移転の目途は立ちましたが、ボランティアと寄附で運営される当施設は移転後も継続したサポートが必要となります。是非、この支援の輪を継続し、ご支援いただければ幸いです。



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・  
ハウス・チャリティーズ・ジャパン  
理事長  
**柳澤 正義**

この度は、2年足らずという短期間で、吹田市の企業様、市民の皆さまをはじめ、全国の皆さまからの暖かいご支援の積み重ねで、2億円を超える募金を集めていただきましたこと、心より感謝申し上げます。このご支援のおかげで2019年7月開設に向けて、病院に隣接して新たにハウスを建設し移転することが可能となりました。新しいハウスでも、「わが家のようにくつろげる第二の家」として、温かくご家族をお迎えできるよう、しっかりと準備を進めてまいります。



ドナルド・マクドナルド・ハウス  
おおさか・すいた  
ハウスマネージャー  
**前納 美奈子**

重い病状のため、地元の病院では治療ができず、国立循環器病研究センターにヘリコプターや救急車で運ばれてくる子どもたち。そんな重い病気と闘うお子さまを持つ多くのご家族の涙も見てきました。重い病気と闘うお子さまとご家族にとって、病院のすぐそばにあり、地域ボランティアが支えてくれるハウスは何よりも貴重な場所です。

多くの皆さまのご支援のおかげで、移転することができるようになり、心より嬉しく感謝申し上げます。

「おおさか・すいたハウス」は寄附とボランティアによって運営されていますので、引き続き、皆様の支援やサポートが必要です。継続的なハウス運営支援にご協力をお願いいたします。詳しくは、ハウスにお問い合わせください。

### 【お問い合わせ先】

おおさか・すいたハウス

TEL：06-6836-6551 FAX：06-6831-7611



マクドナルドハウス

検索

## 市立休日急病診療所の恒久的な移転について

現在、総合福祉会館4階にて暫定的に運営を行っている市立休日急病診療所について、その恒久的な移転先として活用するため、おおさか・すいたハウスの建物を買い取ったうえで、改修等を行い、平成31年度（2019年度）末の開設を目指すものです。

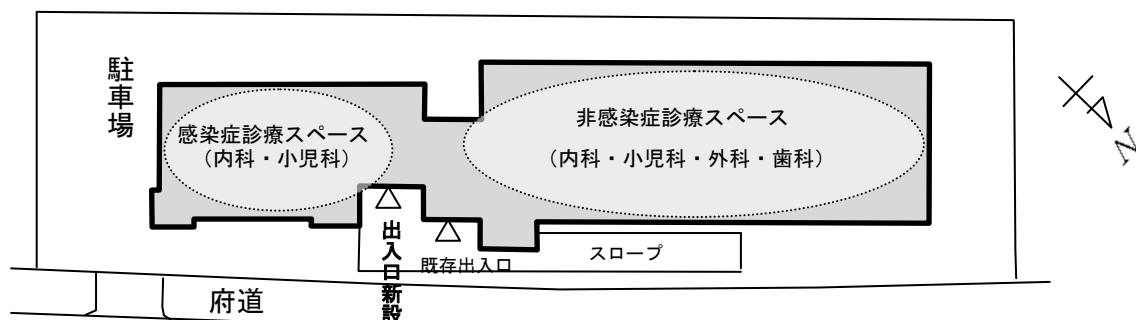
### 1 おおさか・すいたハウス建物の取得概要について

- (1) 所有権移転日 平成29年10月1日
- (2) 取得物件
  - ① 所在地 : 吹田市青山台4丁目31番20号（地番 119番468）
  - ② 構造 : 鉄筋コンクリート造合金メッキ鋼板ぶき・陸屋根  
地下1階地上2階建
  - ③ 延床面積 : 1,292.88㎡（登記面積1,238.31㎡）
  - ④ 付属する工作物等 : 敷地内に存する塀、垣及び柵等
- (3) 取得価格 156,988,800円
- (4) 取得の相手方 公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス  
・チャリティーズ・ジャパン

### 2 改修工事の概要（案）

- (1) 建物出入口を新たに新設し、感染症患者と非感染症患者の動線を分離。
- (2) 診療室（内科・小児科・外科・歯科）やエックス線室、待合室等を1階に配置。
- (3) 別途、感染症患者用の診療室（内科・小児科）や待合室等を1階に配置。
- (4) 2階に医師等控室や倉庫等を配置。
- (5) 現在の駐車場を改修・増設。

【整備イメージ図】



### 3 今後の工程（案）

- 平成 29 年度（2017 年度）
- ・改修工事設計（～平成 30 年度（2018 年度））
  - ・ハウス敷地（府有地）と吹田警察署敷地の一部（市有地）の不動産鑑定評価
- 平成 30 年度（2018 年度） 府有地と市有地との等価交換
- 平成 31 年度（2019 年度）
- ・改修工事、機材搬入等
  - ・休日急病診療所開設（平成 31 年度末目標）
- （7 月以降）



## ■ 事業スケジュール

	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)		平成31年 (2019年)	
	10-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月
各種調査等		→			
建築工事		6月頃着手	→		
開設準備				→	
入居開始・テナント開業				7月以降入居	→

## ■ 住宅概要

- 1、2階 診療所、病児・病後児保育、児童発達支援施設  
小規模認可保育所、物販店 ほか
- 3階 地域密着サービス（小規模多機能等）  
交流施設 ほか
- 4、5階 サ高住
- 6、7階 一般賃貸住宅

## ■ イメージパース

北側道路岸辺駅方向より全景



南側歩道岸辺駅方向より全景





# 国循－吹田市民病院の連携に係る検討状況について

## 1 国循-市民病院 医療連携連絡会議の概要について

- (1) 開始時期  
平成 25 年 7 月
- (2) 出席者  
両病院幹部（病院長・副院長・その他テーマに関連する診療科部長等）  
吹田市（オブザーバー）
- (3) 開催頻度  
年に 3～4 回
- (4) 今年度の開催状況  
平成 29 年 5 月（第 14 回 国循-市民病院 医療連携連絡会議）  
平成 29 年 9 月（第 15 回 国循-市民病院 医療連携連絡会議）  
今年度内にあと 1～2 回開催予定

## 2 協議している主な事項について

- (1) 循環器内科  
市民病院に引き続き循環器内科を設置し、カテーテル検査・インターベンション治療を継続して行う。  
心筋梗塞の救急搬送患者については、国循がメインで対応する方向で協議中。
- (2) 神経内科・脳神経外科  
市民病院に引き続き神経内科、脳神経外科を設置する。脳卒中などの救急搬送患者については、国循がメインで対応する方向で協議中。
- (3) 透析患者について  
市民病院は泌尿器科が担当、国循は腎臓内科が担当。担当者同士で協議し、患者の棲み分けも可能となる見込み。
- (4) 国循には無い診療科の疾患・外来患者の対応について  
国循入院患者の消化器系疾患については、市民病院に対応を依頼する。  
外来患者についても、国循の外来は限定的であるため、国循で対応困難な患者については、市民病院に対応を依頼する。
- (5) 研修・研究について  
それぞれのカンファレンスへの出席等、相互交流を推進する。
- (6) 医療機器の利用について  
国循に PET を設置するため、市民病院で必要な患者がいた場合には利用する。

## 背景

- ・ 吹田市・吹田市医師会と連携し、長期の追跡調査（コホート研究、吹田研究）を実施し、その成果は我が国の循環器病予防対策の科学的根拠として広く活用
- ・ 対象者の高齢化などに加え、日本人の生活習慣や社会環境が劇的な変化、診断治療技術の急速な進歩など、これまでの研究だけでは、十分対応できない
- ・ 従来の研究のノウハウを用い、吹田市・摂津市において循環器疾患制圧に資する新コホート研究が必要

## 目的

**新規性と科学性の高い都市部コホート研究**として実施し、我が国の循環器疾患を含む**健康障害にかかわる疾患の予防において有用な知見を創出し、国民の健康寿命の延伸に貢献**

## 対象者と調査方法（案）

- (1) 吹田・摂津市民（40～64歳）5000人を対象
- (2) 住民基本台帳等から性年齢階級別に無作為抽出
- (3) ベースライン調査は、1000名/年ずつ健診と研究調査を行い、5年程度で一巡
- (4) 追跡調査として、
  - ①5年毎の国循での健診と研究調査
  - ②郵送・電話による調査
  - ③発症時の受診病院のカルテ閲覧・情報提供
  - ④追跡不能時の住民票請求や住民基本台帳の閲覧

関係者によるワーキングで、実施にあたっての諸課題を検討中

## 今後の予定

2017年度

- ・ワーキンググループの設置
- ・関係団体への周知
- ・研究計画案の作成 など

2018年度

- ・研究計画の確定

2019年度

- ・新センター開設
- ・研究協力者の募集（10月以降）

2020年度

- ・調査開始（5月～）